

オーストリア・ドイツにおける 脱炭素地域づくりの全体像

的場 信敬

龍谷大学政策学部

matoba@policy.ryukoku.ac.jp

これまでの研究

- 2014年より継続的に欧州ドイツ語圏（オーストリア、ドイツ、スイス、北イタリア、スウェーデン）の訪問調査
- 「地域エネルギー・ガバナンス」の考え方とそれを担う「社会的基盤」
- 「脱炭素化 ≡ 持続可能な社会の実現」の視点 → 望ましい「社会のあり方（社会像）」そのものを検討

ENERGY GOVERNANCE
Building Social Infrastructure for Local Participation

エネルギー・ガバナンス

地域の政策・事業を支える社会的基盤

約稿執筆 平野俊一 書田陽介 木原浩貴

ドイツ、オーストリア、日本の脱炭素シフトの最

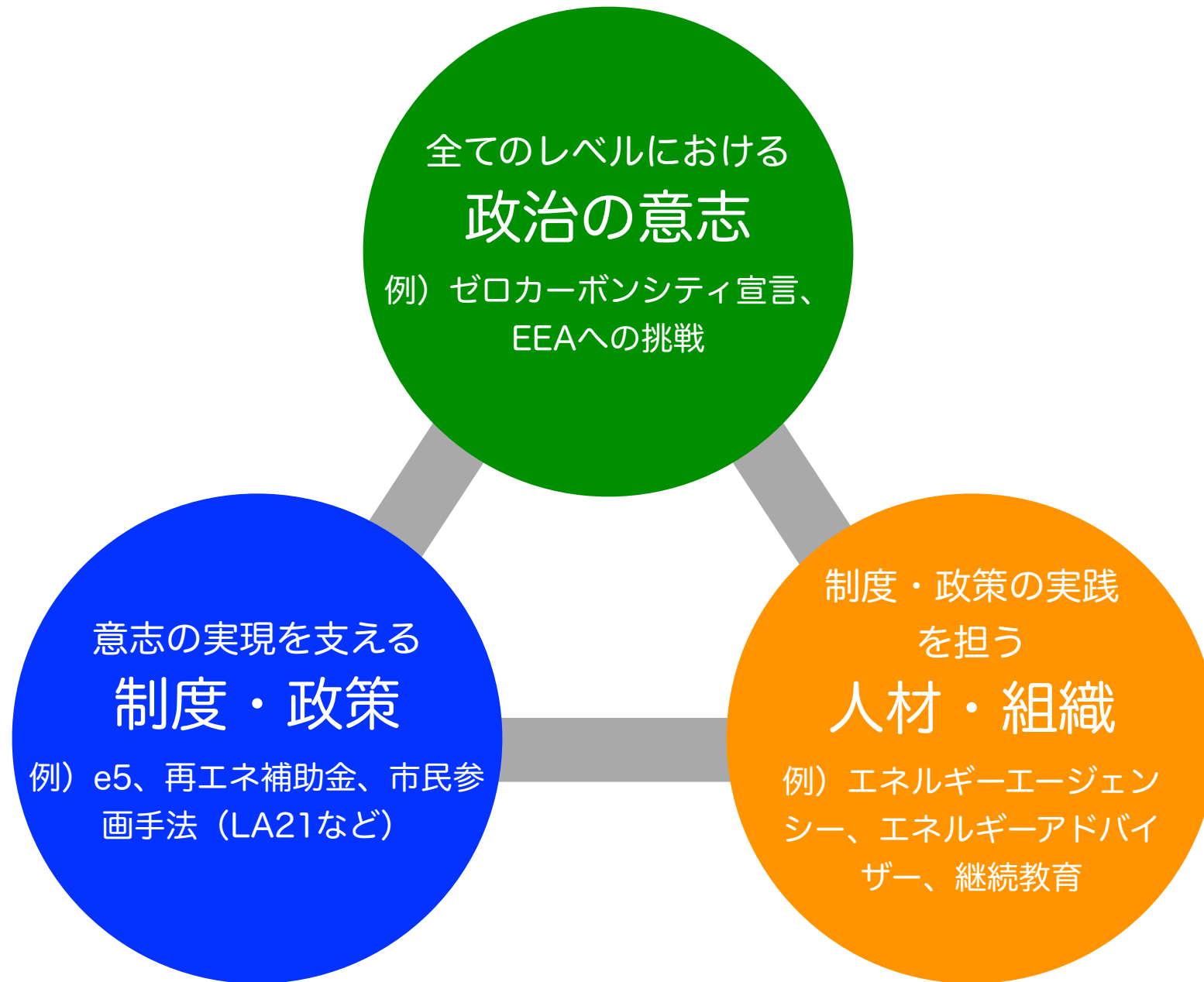
約稿執筆
平野俊一
上田陽介
木原浩貴
九野田洋
高川博
平野俊一
書田陽介
木原浩貴

エネルギー自立と
Energy Autonomy
持続可能な
for Local Sustainability
地域づくり
in Austria

環境先進国「オーストリア」に学ぶ



脱炭素地域づくりを支える3つの社会的基盤



オーストリア、ドイツにおける脱炭素地域づくりを支えるさまざまなアクター

EU

国を超えた政策
連携・資金補助

国・地方政府

将来像の設定・
政策開発・
模範の提供

スマートシティ

ユーティリティ
(電気、水など)
の提供

営利企業

脱炭素型経済
活動への転換

NPO

アドボカシー・
市民との連携

エネルギー協同組

再エネの促進・
市民の参画

学校・教育機関

義務教育・継続
教育・研究実践

市民

社会変革の主体
(政治選択・消費
行動の転換)

エネルギー専門

エネルギーアドバ
イザー、気候保全
マネージャーなど

エネルギー
エージェンシー

アクターの連
携・脱炭素化
をモチベート

などなど...

地方政府、シュタットベルケ、エネルギーエージェンシーの役割

地方政府

- ・ 脱炭素化への道程と将来像を設定し、そのための政策・事業を開発

シュタットベルケ

- ・ 脱炭素化に関連するユーティリティ（電気、交通など）のプロバイダー
- ・ 自身の事業関連の導入アドバイスやサポートを行うところも

エネルギー エージェンシー

- ・ 地域の将来像・政策や経済活動、社会構造、価値観を、**専門的見地を用いて脱炭素型へ移行させるファシリテーター／コーディネーター**

3つの社会的基盤を強化するために

- 既存の政治家の意識改革 ⇒ 継続教育
- ▲ 新しい政治家の育成 ⇒ 政治教育、青年議会など
- 議員や議会への圧力 ⇒ 各アクターのアドボカシー、提案
- ▲ EUや上層政府の政策誘導、補助金など

全てのレベルにおける
政治の意志

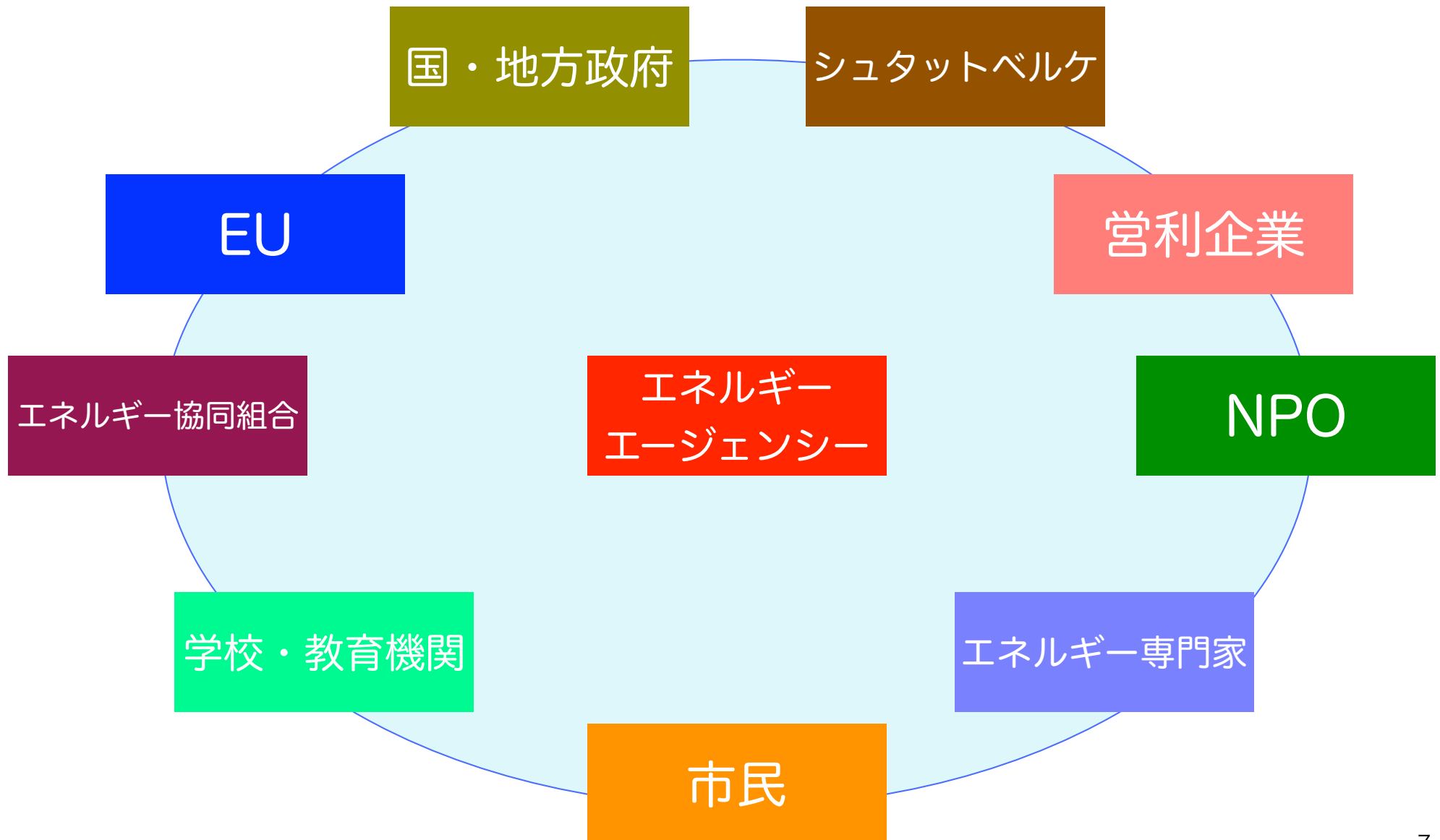
- 行政職員の専門性・能力開発 ⇒ 職員研修、継続教育
- 外部専門組織・人材からのサポート ⇒ エネルギーアドバイザー
- ▲ 首長のリーダーシップ
- 脱炭素化を誘導するしくみ ⇒ EEA、e5など
- 政策実践を担う外部組織 ⇒ シュタットベルケ、協同組合など
- ▲ EUや上層政府の政策誘導、補助金など

意志の実現を支える
制度・政策

- ▲ 学校教育カリキュラム
- 継続教育のしくみとプロバイダー ⇒ 実効性ある認証
- ▲ 経済・社会的インセンティブのある政策
- 参加を促すしくみ ⇒ LA21、市民評議会、青年議会、協同組合など
- 外部組織へのサポート ⇒ コアコスト、プロジェクト補助金など

制度・政策の実践を担う
人材・組織

少し極端に示すと・・・



日本におけるエネルギーエージェンシー（中間支援組織）の必要性

- **ジェネラリスト型の行政職員**： 新卒一括採用、専門職の少なさ、数年ごとの異動
- 脱炭素政策や事業の**ノウハウが、担当部局にも地域にも残らない** → 中央のコンサル活用
- **広域的なサポート・協力関係の必要性**： 経済的・人的資源の乏しい地方の自治体の中には、単独での脱炭素化への挑戦が厳しいところも
- 脱炭素に関する**地域キャパシティ（資金、人材、事業など）の向上**： アクターを繋ぎ相乗効果を生み出す役割
- 脱炭素を担う専門人材の育成： **基礎的な技術的知識を有したファシリテーション能力の高い専門人材の必要性**（日欧共通の課題）